

SLAC国立加速器研究所、11月1日付で新所長の就任を発表（10月25日）

エネルギー省（Department of Energy）が所有し、同省との契約の下でスタンフォード大学（Stanford University）が運営する SLAC 国立加速器研究所（SLAC National Accelerator Laboratory、カリフォルニア州メンロパーク）は、パーシス・ドレル所長（Persis Drell）の後任として、11月1日付でチ・チャン・カオ氏（Chi-Chang Kao）が新所長に就任すると発表した。

X線物理学者のカオ氏は、ブルックヘブン国立研究所（Brookhaven National Laboratory、ニューヨーク州アップトン）に1988年から2010年まで勤務し、2006年からは同研究所内の研究施設である国立シンクロトロン光源研究所（National Synchrotron Light Source : NSLS）において部長職を4年間務めた後に、2010年よりスタンフォード・シンクロトロン放射光源研究所（Stanford Synchrotron Radiation Lightsource : SSRL）副所長としてSLACに所属している。

カオ氏は、SLAC 国立加速器研究所の今後について、現行の研究プログラムを継続させながら、エネルギー貯蔵・太陽光技術・触媒作用などエネルギー関連の基礎研究を強化したいとの抱負を述べている。

Science Insider, X-ray Scientist to Head SLAC National Accelerator Laboratory

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/10/x-ray-scientist-to-head-slac-nat.html>